

# 要望書

近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業について



令和6年1月  
四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、リニア中央新幹線の東京-名古屋間が開通する「リニア時代」の幕開けに向け、2027年の完成を目指し、近鉄四日市駅からJR四日市駅にかけての中心市街地において、駅前広場の再編や両駅を結ぶ幅員70mを有する中央通りを歩行者中心の街路空間とする中央通り再編事業や都市公園の再編、まちなかのスマート化、新図書館の建設、大学の設置などからなる中心市街地再開発プロジェクトに取り組んでいます。

このような中、国土交通省のご支援のもと、昨年5月には『「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画』を策定するとともに、今年度からは、本市の新たなシンボルとなる円形デッキの工事や都市公園の再編工事に着手するなど、中央通り全線で本格的に街路空間等の再編を進めているところです。



中央通りの将来イメージ【円形デッキ付近】



街路空間再編の工事状況

また、中央通り再編にあわせたスマートシティの実現に向け、AIカメラなどのスマートインフラの整備やMaaSの構築に向けた取り組みを進めるなど、各種サービスの実装を目指して官民一体となって取り組んでいるところです。

この中央通りの再編に呼応して、沿道を中心にホテルやオフィス、マンションの建設といった民間投資も相次ぐなど、まちなか再生に向けた機運が大きく高まっております。

つきましては、次の事項を強く要望します。

リニア時代の到来やまちづくりGX・DXなど人々のニーズが変化・多様化する中でも、市民や来街者の期待に応えられるよう、駅まち空間の再構築や居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現を官民一体となって推し進めてまいりますので、引き続き、次の予算の配分について特段のご配慮をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

- 都市・地域交通戦略推進事業(防災・安全交付金、個別補助)
- まちなかウォーカブル推進事業(社会資本整備総合交付金)
- スマートシティ実装化支援事業

令和 6年 1月

四日市市長 森 智広



Park-PFI制度活用予定区域の将来イメージ(JR四日市駅～西側を望む)



オフィスの建設イメージ(2025完成予定)



ホテル・オフィスの立地(ウォーカブル推進税制活用)